

(2) 千葉市自殺対策計画の 推進について

現行の千葉市自殺対策計画について

名 称	第2期千葉市自殺対策計画(改訂版)
位置付け	<ul style="list-style-type: none">・ 自殺対策基本法に基づく「市町村自殺対策計画」・ 国の自殺総合対策大綱の内容を踏まえるとともに、本市の実情を勘案して策定・ 行政や関係機関、民間団体等がそれぞれの役割を担い、連携して自殺対策に取り組んでいくために策定
計画期間	<ul style="list-style-type: none">・ 平成30年10月～令和10年9月・ 令和5年10月中間見直し(改訂)実施
内 容	「気づく」、「支え合う・関わる」、「つなぐ」を生きる支援の3つの柱として、156の具体的な取組を実施

計画の数値目標の進捗

- ※ 自殺死亡率:人口10万人当たりの自殺者数
- ※ 数値は人口動態統計に基づく

(1)数値目標

	計画時 H21～28年平均	目標 R6～R8年平均
自殺死亡率※	18.4	13.0以下

(2)数値の推移

R1	R2	R3	R4	R5	R6 (概数)
17.3	16.3	15.3	16.9	15.2	14.5

計画の評価指標(全15指標)の進捗

(1)評価基準とR6年度末現在の評価結果の概要

記号	意味	評価項目数
◎	目標を達成している	8(53.3%)
○	目標に向かって改善している	3(20.0%)
△	ほぼ変化していない	3(20.0%)
×	悪化している	1(6.7%)
合計		15(100%)

(2) 評価結果の詳細 1 / 3

No	分類	評価項目	計画時	目標	R6末現在	評価
1-1	取組	各種相談窓口等からの相談事例等の収集、自殺対策相談窓口会議における事例検討	未実施 (H29年度)	実施 (R8年度)	実施 (R6年度)	◎
2-1	意識	何かに悩んだときに身近な人や相談窓口に相談する人の割合の増加	60.8% (H30年度)	72.5% (R8年度)	60.6% (R6年度)	△
2-2	取組	自殺予防キャンペーンの実施	未実施 (H28年度)	実施 (R8年度)	実施 (R6年度)	◎
3-1	取組	ゲートキーパー研修の受講者数の増加	131人 (H29年度)	900人 (H30~R8年 度累計)	983人 (H30~R6 年度累計)	◎
4-1-1	意識	一つでも相談窓口があることを知っている人の割合の増加	78.7% (H30年度)	85.0% (R8年度)	70.5% (R6年度)	×

(2)評価結果の詳細 2/3

No	分類	評価項目	計画時	目標	R6末現在	評価
4-1-2	取組	メンタルヘルスに関する情報や相談を受けられる体制のある職場の増加	52.7% (H28年度)	80% (R16年度)	62.4% (R3年度)	○
4-1-3	意識	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の減少	10.5% (H28年)	減少 (R16年度)	10.3% (R4年)	△
4-2-1	取組	SOSの出し方に関する教育の実施	未実施 (H29年度)	実施 (R8年度)	実施 (R6年度)	◎
4-2-2	取組	ひきこもり地域支援センターの39歳以下の実支援者数の増加	125人 (H29年度)	150人 (R8年度)	160人 (R6年度)	◎
4-2-3	取組	ひきこもり地域支援センターの訪問支援延べ件数の増加	186件 (H29年度)	219件 (R8年度)	246人 (R6年度)	◎

(2)評価結果の詳細 3/3

No	分類	評価項目	計画時	目標	R6末現在	評価
4-3-2	意識	睡眠による休養を十分に取れている人の増加	72.5% (H28年度)	80% (R16年度)	73.9% (R3年度)	△
4-3-3	意識	週労働時間40時間以上の雇用者のうち、週労働時間60時間以上の雇用者の減少	11.2% (H28年)	5% (R11年度)	6.9% (R4年)	○
4-3-4	取組	ふれあい・いきいきサロンの実施回数(全市合計)の増加	3,651回 (H29年度)	4,020回 (R8年度)	4,005回 (R6年度)	○
5-1	取組	あんしんケアセンターの配置人数	137人 (H29年度)	高齢者人口2,000人 あたりに1人配置 (R8年度)	155人 (R6年度)	◎
6-1	取組	自殺対策相談窓口会議の開催	未実施 (H29年度)	実施 (R8年度)	実施 (R6年度)	◎

計画の具体的な取組(137事業)の進捗

(1)達成度基準とR6年度末現在の評価結果の概要

記号	意味	評価事業数
◎	実績が計画を上回った（数値による場合、実績が150%を超える事業）	2(1.5%)
○	概ね計画通り実施した（数値による場合、実績が70%以上150%以下の事業）	134(97.8%)
△	実績が計画を下回った（数値による場合、実績が70%未満の事業）	1(0.7%)
合計		137(100%)